

富谷市まちづくりアンケート結果概要

資料 1

○調査の目的

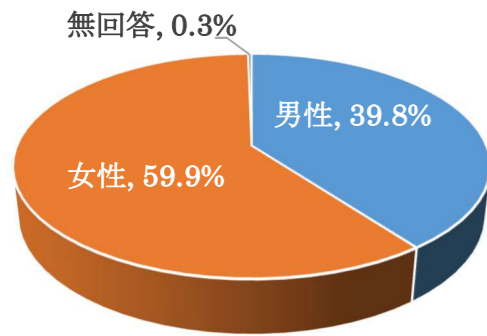
本調査は、2020年(令和2年)度末に終期を迎える「富谷市総合計画・前期基本計画」に基づく各種施策の推進状況の検証及び、2021年(令和3年)度からの新たな5年間の市政運営の方向性を定める「同・後期基本計画」の策定に伴い、今後の施策展開に生かしていくことを目的に実施したものである。

○調査の概要

調査名	富谷市まちづくりアンケート調査 ～富谷市総合計画・後期基本計画策定に関する住民意向調査～
調査期間	2020年(令和2年)7月31日(金)～9月4日(金)
調査対象者	富谷市内に居住の18歳以上の市民(2,000名を無作為抽出)
回収数(率)	895票 (44.75%)

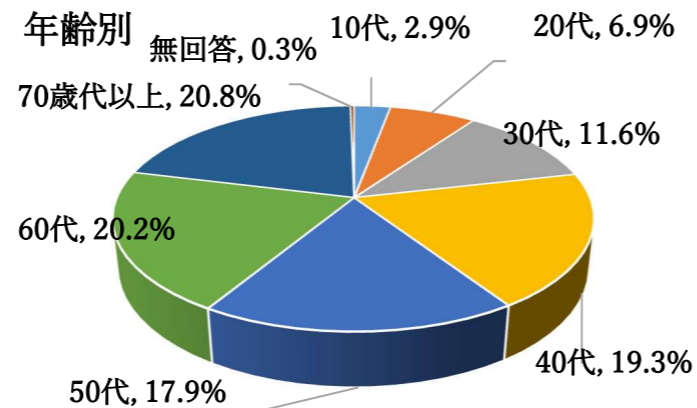
○回答者属性

性別



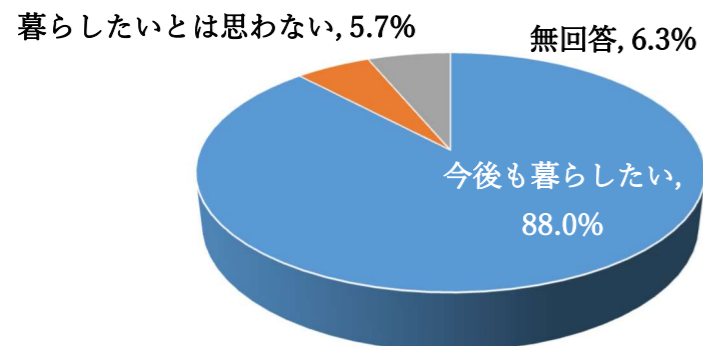
性別では「男性」が39.8%、「女性」が59.9%であり、回答者の半数以上を「女性」が占めた。
年齢では「70歳以上」が20.8%と最も多く、次に「60代」(20.2%)、「40代」(19.3%)と続いた。

年齢別



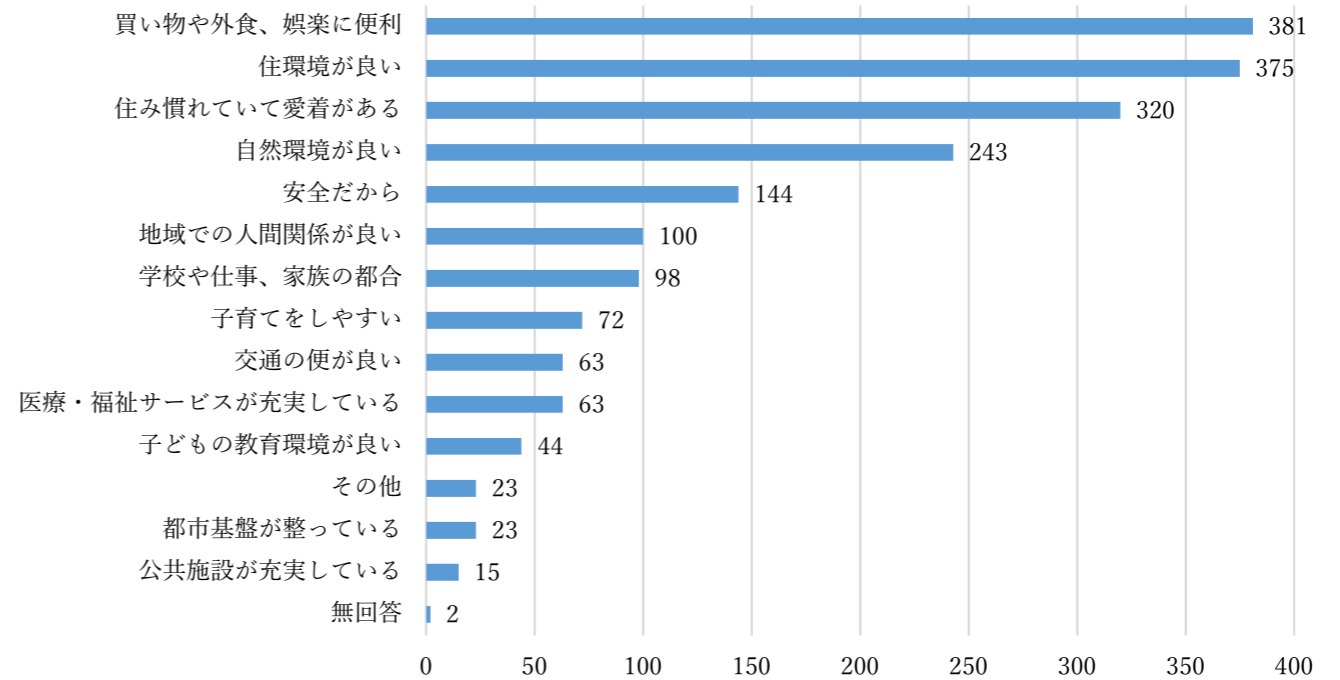
○富谷市の暮らしやすさ

設問：今後も富谷市で暮らしたいと思いますか？



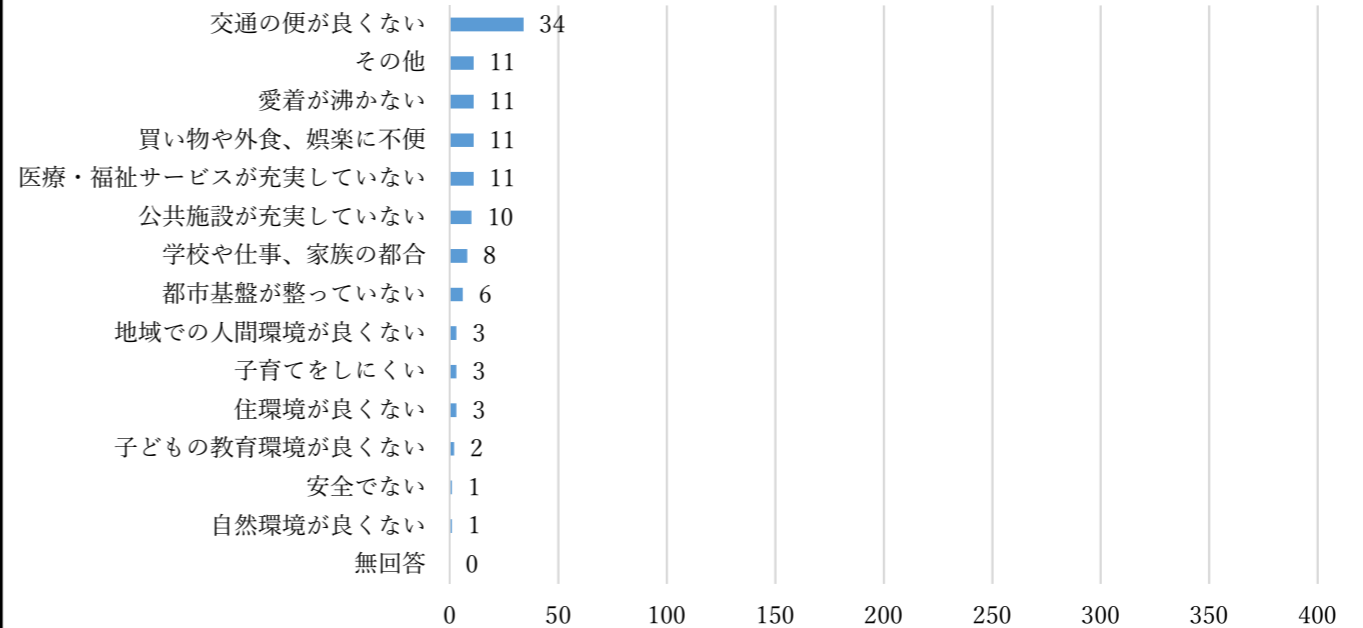
将来居住意向では、「今後も暮らしたい」が88.0%と大半を占めた。

○今後も富谷市で暮らしたいと思う理由



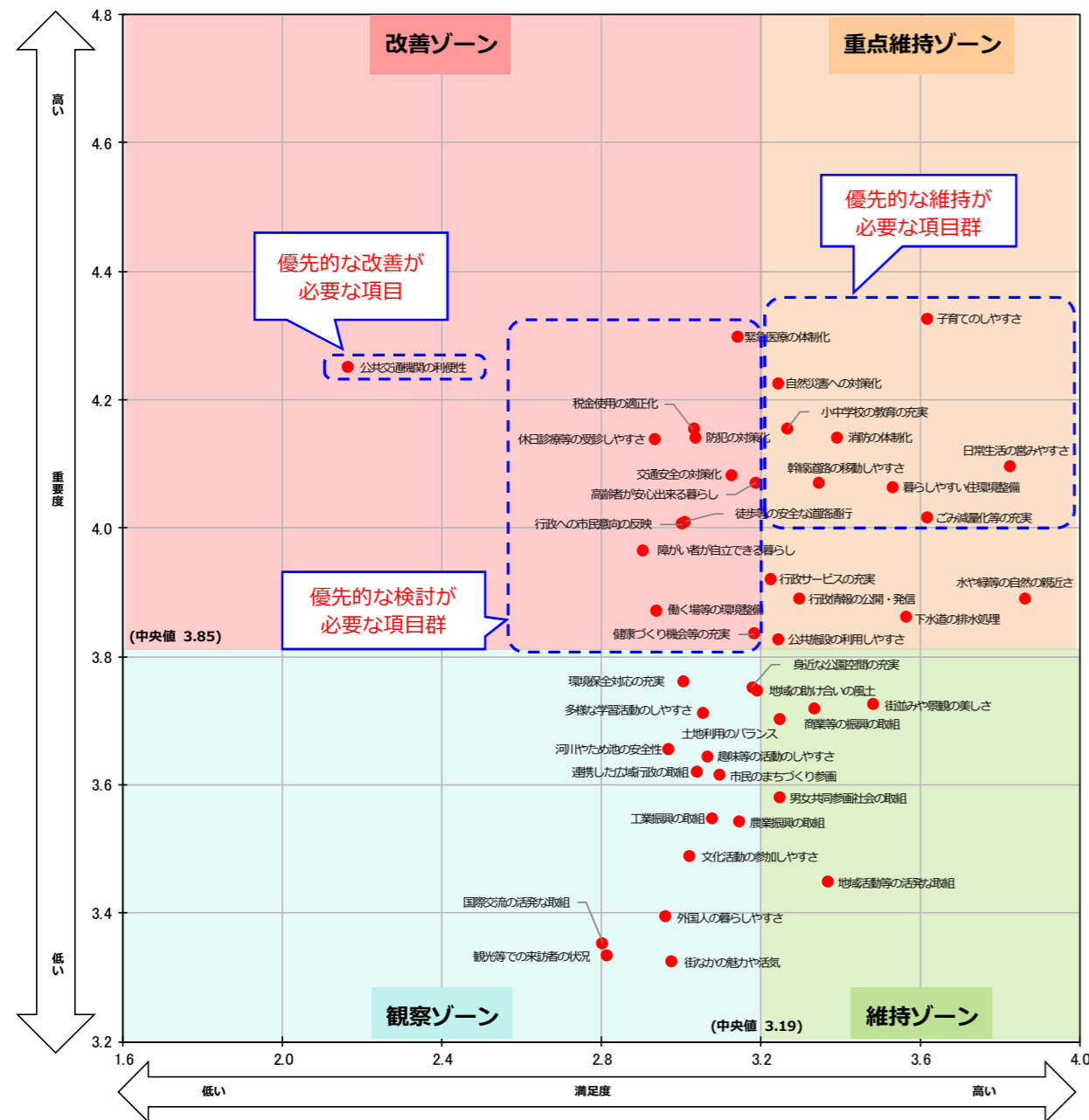
富谷市で暮らしたいと思う理由では、「買い物や外食、娯楽に便利」が最も多く、次に「住環境が良い」、「住み慣れていて愛着がある」、「自然環境が良い」が続いた。

○富谷市で暮らしたいとは思わない理由



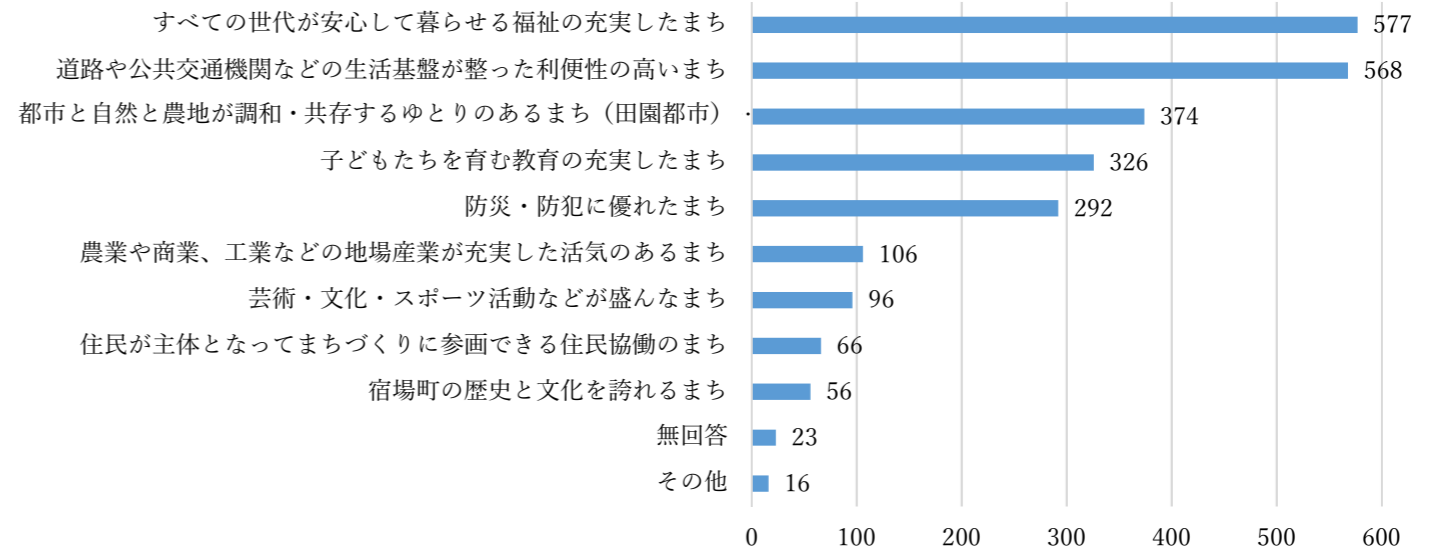
富谷市で暮らしたいと思わない理由では、「交通の便が良くない」が最も多く、次に「医療・福祉サービスが充実していない」「買い物や外食、娯楽に不便」「愛着が沸かない」などが続いた。

○富谷市のまちづくりに対する評価



	施策 ※略称
優先的改善項目 重要度：高、満足度：低	⑳公共交通機関の利便性
優先的維持項目 重要度：高、満足度：高	⑤子育てのしやすさ ⑦小中学校の教育の充実 ⑭ごみ減量化等の充実 ⑰暮らしやすい住環境整備 ⑱幹線道路の移動しやすさ ⑳自然災害への対策化 ㉑消防の体制化 ㉒日常生活の営みやすさ
優先的検討項目 重要度：高、満足度：中	①健康づくり機会等の充実 ②休日診療等の受診しやすさ ③高齢者が安心出来る暮らし ④障がい者が自立できる暮らし ⑯徒歩等の安全な道路通行 ㉔緊急医療の体制化 ㉕交通安全の対策化 ㉖防犯の対策化 ㉗働く場の環境整備 ㉘行政への市民意向の反映 ㉙税金使用の適正化

○富谷市が目指すまちづくりの方向性

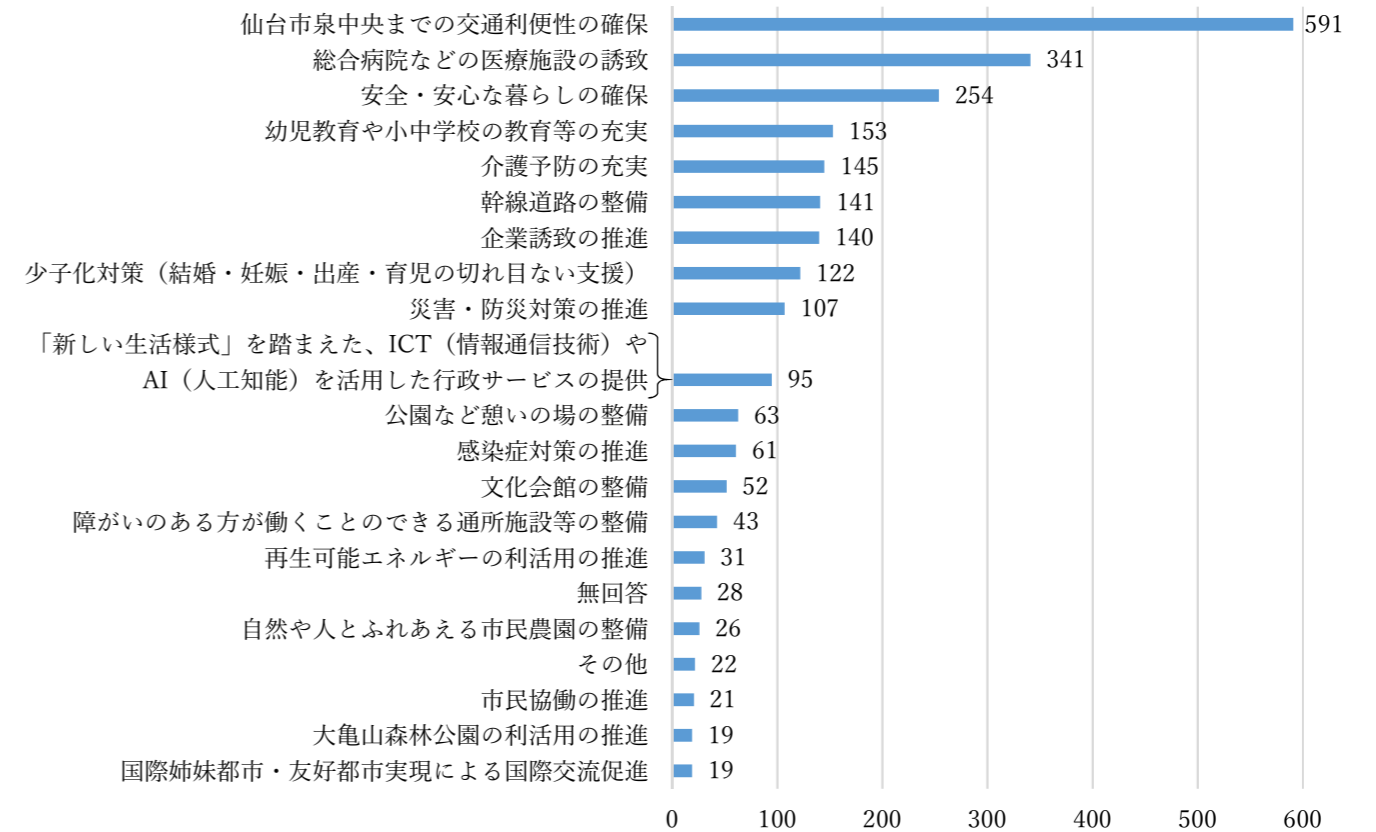


目指すべきまちづくりの方向性では、「すべての世代が安心して暮らせる福祉の充実したまち」が最も多く、次に「道路や公共交通機関などの生活基盤が整った利便性の高いまち」「都市と自然と農地が調和・共存するゆとりのあるまち（田園都市）」が続いた。

一方、「宿場町の歴史と文化を誇れるまち」や「住民が主体となってまちづくりに参画できる住民協働のまち」は関心が低い傾向にあった。

※「都市と自然と農地が調和・共存するゆとりのあるまち（田園都市）」には、「自然が豊かで潤いある環境にやさしいまち」を合算して表記。

○富谷市がこれから行う施策で必要なものは？



これから必要な施策では、「仙台市泉中央までの交通利便性の確保」が最も多かった。その他、比較的必要だと思う割合が多い項目としては、「総合病院などの医療施設の誘致」や「安全・安心な暮らしの確保」が挙げられた。